

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析

逗子市立沼間小学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

全国・県と比較して ±5%の差が見られる内容について中心に分析し、自校の指導計画や授業づくりに活用してください。

【 国語 】

《言葉の特徴や使い方に関する事項》

○送り仮名に注意して漢字を文の中で正しく使うことができる児童が多い。

●漢字学習に対して前向きに学習しようとする児童が少ない。そのため全国平均を上回ることができなかった。また、日常よく使われる敬語の理解が不足しており、無回答者が多い。漢字や敬語に親しみを覚える授業づくりを検討していきたい。

《情報の扱い方に関する事項》

○資料の読み取りが苦手な児童が多い。

●各教科での資料の読み取りの際、より丁寧に扱っていく。資料と文章を照らし合わせながら正確に読み取れることを指導していく。

《話すこと・聞くこと》

○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる児童が比較的、多い。

●無回答者が多いことから、問題文の多さに苦戦する児童が多いということがわかる。また、選択肢の文を理解する時に一部分のみを捉え、回答していることがわかる。このことから、長い文に慣れることや似たような言葉の意味の違いについての理解ができるような授業を取り入れていきたい。

《書くこと》

○本文中の資料から分かったことを記述できる児童が比較的、多い。

●児童の多くは、このような複数ページかつ複数資料をまとめることに慣れておらず、文章を記述することに苦戦したことが分かる。国語の時間だけではなく、他教科でも資料を使って自分の考えをまとめる授業を取り入れていきたい。

《読むこと》

○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる児童が比較的、多い。

●今回の記述問題は、無回答にしている児童が多い。また、選択問題に関しても無回答の児童が多い。

《児童質問紙 国語に関する質問》

国語の勉強が大切だと思う児童が多い一方で、「国語の授業の内容がよく分かる」児童はやや少なく、「国語で学習した内容が将来役に立つと思う」と答えている児童も、少なくなっている。また、書いた文章を交流することで、感想を言い合ったり、意見を伝えあったりしてよいところを見つけたりしている児童も少ないことから、国語の授業を見直す必要がある。日常生活で生かすことと児童にとって分かりやすい授業を意識した

授業計画をしていきたい。校内研究として国語を全職員で学んでいるので、成果が上がるようにしていきたい。

【 算数 】

《数と計算》

○「以上の意味」を理解し、必要な数を読み取ることができた児童が比較的多い。

●1の位が0の二つの二位数について、乗法の計算をすることができない児童が多い。二位数÷一位数のひっ算について、図をもとに各段階の商の意味を考慮することができない児童が多い。計算学習は、授業の中で計算問題に触れさせていきたい。

《図形》

○「正三角形の意味や性質」の理解については全国平均より高い。

●高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に、面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する児童が少ない。また、無回答の児童が多かった。

《変化と関係》

○「百分率」の理解については全国平均より高い。

●比例の関係をj用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述することが難しい児童が多い。また、無回答の児童が多かった。

《データの活用》

○二次元の表から条件に合う数を読み取ることができる児童が、全国平均より高い。

●棒グラフを読み取り見出した違いを、言葉と数を用いて記述できる児童が少なかったが、無回答率は全国平均より少なかった。

《児童質問紙 算数に関する質問》

算数の勉強は好きな児童の割合が、全国よりやや多い。本校では、少人数指導を実践しており、より児童ひとりひとりにあった指導を心掛けていることが今回の結果につながったと考える。しかし、正答率については、全国平均を上回ることができていないため、特に記述式の問題等を日頃の学習から取り入れていきたい。

◎児童質問紙の結果 特徴的なことや課題と考えられること等

家で計画を立てて学習をしている児童が県や全国と比べて割合が少ない。授業で学んだことを他の学習で生かしていないと感じている児童が国や県と比べて多い。全体的に学習への関心・意欲に苦戦している児童が一定数いることが分かる。教科横断的な課題に取り組み、より深い学びができるような授業作りに取り組んでいくべきということが分かった。

◎調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

確かな学力を育成するために基礎・基本を定着するための指導をすること。個に応じた指導・支援をしていく。授業や学習に興味をもてるように協働的な学習環境を設置する。